

大正区・西区・港区、大阪西部エリアへ健康と笑顔を届けられるように。

Lifes

Deeptown MAGAZINE

no. 6

大正百景
博多ヒト志

大阪西部景察
吉村智樹

大正区・西区・港区の癒しスポット教えます
「ここに住んで」

西部エリアで働くヒト
「ここで働く。」
荒西裕大(オリックス・バファローズ)

今さら聞けないお薬のこと
目は口ほどに物をいう!?

TAKE FREE

大正百景

博多ヒト志

放送作家、漫才作家

太閤秀吉のお膝元にある小学校へは地下鉄と市バスで通っていた。家に一番近いバス停は永楽橋筋。大通りの停留所のどこに橋があつて筋なのかなんて疑いもせずに乗り降りしていた。

幼稚園も私学だった僕は近所に友だちすらない。おかげでTVゲームの腕と自転車操作には自信があつた。小学三年の時に従兄の真似をして変速付き自転車を購入。昭和山のある千島は低学年が家から自転車で行くには程よい距離だった。

当時は「大正区に昭和山？出来すぎやろ」と思っていたが後に理由を知ってびっくり。大正区の由来となった大正橋は大正四年に日本一長いアーチ橋として架けられその名が付いた。昭和45年に作られた昭和山。国内初の万国博覧会が大阪で開催とあつて市内では大々的な地下鉄工事が行われた。その掘り出した土は大阪市で一番高い山を作るのに使われた。平成や令和生まれの人たちは「大正区に昭和山？」なんて疑問：持つ訳ないか(汗)

昭和山には螺旋状の登頂路が三つある。ただ



profile 博多 ヒト志

放送作家事務所 有限会社 仕事場代表取締役
1969年6月23日生 放送作家、漫才作家
お笑いカルテット「電車道」で数々の新人賞をもらうも3年半で解散。その後放送作家に転身し現在は「せやねん」(毎日放送)「陣内・八方・方正の黄金列伝」(ytv)「それゆけ!メッセンジャー」(MBSラジオ)等の企画構成を担当。トミーズの漫才を20年以上手掛けている。他に「紳電の研究」「やすしきよし『モーレツ漫才コンビ』の全記録」DVDBOX全5巻「よしもとR&C」等がある。

の坂道と階段の間隔が広い道と始めに急な階段がある道。行きは坂道を漕いで上がり、帰りは他の二つで下る。階段も自転車でなんのその。坂道と階段は体力と技術を育んでくれた。

正月には山頂でゲイラカイト(当時流行ったビニール風)を上げ、夏にはクワガタやカマキリを捕まえた。ビルや高層マンションが増えたとはいえ、今でも大阪市内を十分に一望出来る。先日、ウナギ釣りで使うミミズを探しに行った時に見たのだから本当だ。子どもの頃は気にもしなかったが、今回は虫刺されには細心の注意を払った。長袖長ズボンに軍手と長靴、さらには蚊帳付の帽子まで被り入山。案の定大量のモスキート音が聞こえる。だがこちらもフル装備。物とせすにスコップで土を掘りミミズを探すこと一時間。結果は小さいミミズが七匹とノミに刺された両スネ二十一か所。人の手で作られた山は半世紀を経た今、立派な自然の山となりました。痒すぎた五十歳の秋。



「とりあえずビール」は聞いたことがあります、こちらは居酒屋自体が「とりあえず」。「居酒屋、どこかあるかな」「とりあえず、地下一階にあるんじゃない?」。そんな会話が聴こえてきそうですね、とりあえず。



生ゴミを「さわるな!」「あけるな!」「やぶるな!」と超具体的に警告。生ゴミ荒らしの犯人はカラスである場合が多いでしょう。カラスが苦手だとされる黄色で文字を書いているのは、そのためかも。



ゴミ箱の中にスープストックレちゃう人がいるんですね。もしもすでに生ゴミが入っていたら、スープとジャンクションしちゃって独特なクラムチャウダーができてしまいそう。まあ……やめましょうね。

大阪 西部景察

photo & text / 吉村智樹

@阿波座



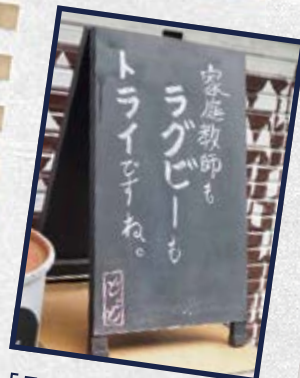
これはレア! 名古屋の自販機メーカー独自の缶飲料ブランド「KING」のマシンは珍しい。缶コーヒーマニアたちから「見れば幸せになる」とまで言われている希少種。出会えて缶(感)激です。



全国のジャンクション(高速道路の合流点)マニアから愛される「阿波座ジャンクション」。ごちゃごちゃなのになにすっきりした印象が残る風景は、思わず「高速道路界の収納王子」と呼びたくなります。



遠目に「リトアニアの国旗か?」と見まがうほどポップな配色の賃貸お知らせ看板。擬人化された電話のマークもめっちゃかわいいで、部屋を借りるついでにぜひとも近くに寄って観察してください。



「ラグビーワールドカップ 2019日本大会」で盛り上がった昨今、街にもラグビーゆかりの言葉が目につくようになります。ちなみに「家庭教師のトライ」の社長は元女優の二谷友里恵さんです。

ラジオ番組の交通情報を聴いていると、「阿波座ジャンクション」というワードが頻繁に耳に入ってきます。なんだか、「木更津キャッツアイ」みたいな語感ですが、決してドラマのタイトルではありません。「ジャンクション」とは、高速道路や鉄道の接合(合流)点のこと。阿波座には、乗り入れたり、分岐したり、巨大なジャンクションが築きあげられています。

阿波座の空中を縦横に入り組んで走るのが16号大阪港線をはじめとした、さまざまな高速道路。阿波座ジャンクションは、道路の合流や交差する光景が「美しい」「カッコいい」と、全国のジャンクションマニアや夜景撮影が趣味の方たちからとりわけ人気が高い。3号神戸線から16号大阪港線へ接続する部分は、「阿波座カーブ」と呼ばれ、そのセクシーな曲線美にメロメロになる好事家も少なくはありません。それこそ、「東の箱崎、西の阿波座」と呼ばれるまでに、横綱級の評価を得ています(と書きつつ、箱崎ジャンクションを見たことはないのですが……)。

そんなふう上空にはかり目が行きがちな阿波座ですが、「下道」(したみち)だつて魅力がいっぱい。大阪メトロの駅を出ると、徒歩圏内には西区区民のいこいの広場「韋公園」があります。また、「サムハラ神社」は、なんと「お守りが指輪」。「御神環」の人氣がすごく、入手困難な状況なのだそう。このように、駅前周辺も、人気スポットがジャンクション(合流)しているのです。

訂正とお詫び

前号で「三軒家を開発したのは赤穂浪士四十七士のひとり中村勘助」とありましたが、同姓同名の方で四十七士の一人ではありません。ご指摘をいただきました読者の方に御礼申し上げます。

大阪デクシヨナリー

大阪の失われて欲しくない言葉、人物、事柄などをゆる〜くご紹介。

ア行

あかんたれ

この言葉を初めて知ったのは作家・脚本家の花登篁が脚本を書いた「あかんたれ」という関西テレビで放送されたドラマ。志垣太郎演じる秀松という丁稚が波乱万丈な人生の果てに、立派な商人に成り上がるまでを描いたストーリー。鶴岡雅義と東京ロマンチカというムード歌謡グループが歌う主題歌「あかんたれ」というフレーズが何度もリフレインされ、話は覚えていずともこの曲は脳裏にしっかりとマーキングされていた。あかんたれとは関西弁で「ダメ」という意味の「あかん」と、人を罵る時の「バカたれ」



などがくつついた言葉で、意気地なし・弱虫などを意味している。小さい頃、夜中トイレに行くのが怖かった時、無理に起こして付いて来てもらった祖母によく言われたことを書いてて思い出した…いまだに人生において、あかんたれだと思う。もう治らない。

えんぺつ

鉛筆のこと。耳に鉛筆を挟んだり、字を書く時にペロつと芯を舐める、短い鉛筆を大事に大事に使っている世代の方たちがよく使っていた言い方。「えんぺつどこにやったか知らんかあ」「そのくらいやつたらえんぺつ、まだ使えるがな！もったいないことしいな」という言葉が小刀で削られたいびつな感じの鉛筆を見ると思いつく。



映さんという

関西の情報バラエティ番組では必ずと言っていいほど路上インタビューが行われる。もちろんネタの宝庫、名言(迷言)の泉であるおばちゃん、おつちゃんらに話や意見をうかがうため。そんな時のよく見るのがさんざんタレントと喋った後にカメラなどに気づき「いや、もう映さんといてえや」と顔を隠しながら歩き去るという光景。「カメラあるの知つたがな」とテレビを見ているもんからツッコミが入るのもお約束。

カ行

肥えるわ

太ってしまうなあという意。おばちゃんというのは、何か楽するときや得すると感じた時、罪悪感はおかたず

けど的なエクスキューズを挟む。電車で座りたい時、ちよと隙間が空いていたりすると、「ちよと足痛いから座らしてもらお」とか、エレベーターで1階から乗り込み、2階のスイッチを押すと「荷物多いとかなんわ」とか、ティッシュをもらおうと「ちよと犬に使わなあかんねんわあ」など…厚かましさとたくましさ、微笑ましさ、絶妙に同居している。「肥えるわあ」も、甘いもんを食べたいとき、試食がある時などに、ダイエットせなあかんのにというエクスキューズが見え隠れ。さらに明日から痩せよという続きもある。

サ行

さっぱわや

全然ダメの意。今ではなかなか若い世代には通じない大阪弁のひとつ。商人がよく使っていたつけ。「最近どないだ?」「さっぱわやや」「そうか、うちもや」「ほな」。これで会話が成り立つ。

しょうむない顔して

つまらなそうにしているの意。父親に怒られた時に拗ねたようなつまらなさそうな態度をしていると、母親は必ず「しょうむない顔してんこれ食べとき」とお菓子や果物を食べさせてくれた。しょうむ(も)ないは諸説あるが仕様もないから来ていると言われている。ちなみにアホみたいな顔しても同様の意味がある。

タ行

玉出

西成区の南部に位置するエリアで、南海本線岸里玉出駅や大阪メトロ四ツ橋線玉出駅が最寄駅。大阪でも『ど』がつくくらいの昭和の匂いが





天王寺公園エントランスエリアの愛称のこと。2015年10月にリニューアルオープン。元々は1903年に開催された第5回内閣勸業博覧会の会場として使用され、その後1909年に会場跡地の東側を改めて天王寺公園として開園した。長らく市民の憩いの公園として親しまれ、1987年には地方博覧会、天王寺博覧会（通称てんぱく）が開催。閉幕後は有料の公園に。その間にホームレス問題や青空カラオケの露店問題などがあつたものの、みごと再生。芝生をメインにサッカーコート、ドッグラン、レストラン、カフェなどの施設がオープンし都会のオアシスとして市民に愛され、と同時に天王寺のイメージもここのおかげで随分と変貌。今月にはてんしば「nao」という新施設がオープンし、さらに進化を遂げている。

色濃く残る下町。そして玉出と言え、関西人にとって黄と赤の電飾看板がおなじみのスーパー玉出が頭に浮かぶはず。低価格路線でお得感満載。時折行われる1円セールが名物。ちなみに赤と黄色は広告色として最も人間の目を引く色だそう、スーパー玉出の看板はまさに理にかなっている。

でん

タッチの意味。鬼ごっこなどをやった時に相手にタッチすると「今、でんした!」と言う。「でんして帰ってきたわあ」は、ちよつと寄つて、すぐに引き返す、トンボ帰りの意味。ちなみに蛇足ですが、西成区花園町にあるお好み焼き屋「でん」は、朝の連続テレビ小説「てつぱん」に登場するお好み焼きを仕込んでいたお店。

てんしば



ナ行

西川きよし

芸人。1980年代、漫才ブームを牽引し、関西の笑いを全国区に広めた漫才コンビ、横山やすし・西川きよしの功績は凄かった。コンビ解散後は国会議員を務め、関西芸人界の重鎮として、さらに彼の家族・西川ヘレン、西川忠志、西川かの子の活躍もあつて、いつのまにか、なにわのロイヤルファミリーなんて呼ばれている。「小さなことからコツコツと」は関西を代表するギャグのひとつ。

ハ行

歯いらんわ



柔らかく喉越しのいい様。一見硬そうに見えたものを咀嚼してみたら、思った以上に柔らかく感じた時におばちゃんおつちゃんらが良く発言する。「これ、歯いらんわ。ほら（口を開ける）溶けたわ」みたいに。基本、おばちゃん、おつちゃんにとつて柔らかいことが善となつているので、この言葉は褒め言葉に位置する。

へレ肉

牛肉でテンダーロインと呼ばれる部位。全国的にはヒレ肉と呼ばれるが、関西ではへレ。その柔らかさ、脂肪の少なさをゆえ高級な部位。ゆえに「へレ食べよか」は最上級のお誘い言葉。昔、祖父が僕の7歳の誕生日に連れていってくれたのが鉄板焼き屋。そこで初めてへレ肉を食べさせてくれた。その時の美味しさはいまだに忘れられない。今も食べたいけれど、値段が値段だけにグッと我慢している。

ヤ行

八尾の朝吉

今東光原作の小説「悪名」の登場人物。1961年に映画化され、八尾の朝吉を勝新太郎、弟分のモートルの貞を田宮二郎が演じ、大ヒット。喧嘩と博打にはめっぽう強いが、女性には純情一途、お酒は一滴も飲めないという朝吉のキャラクターで勝新太郎は一躍大スターとなり、以後、座頭市シリーズや兵隊やくざシリーズとヒット作を放つていく。個人的にオススメは「続悪名」シリーズの中で傑作!

よーいドン!

朝の情報バラエティ番組。毎週月、金の朝9時50分から関西テレビで生放送されている番組でメインMCは円広志と高橋万里恵アナウンサー。日替わりで未知やすえ（月）松本伊代（火）ハイヒールモモコ（水）ハイヒールリング（木）羽野晶紀（金）が出演し、日替わり企画のリポーターとして芸人らが登場している。前半のレギュラーコーナーで街を歩いて面白い人と出会う「となりの人間国宝さん」は認定されるとステッカーがもらえるのだけど、関西を歩くと割とこのステッカーに出くわすのでちよつと嬉しくなってしまう。



今さら聞けないお薬のこと。

「目は口ほどに物を言う」

環境の変化・進化により、日常生活での眼にかかる負担は以前よりも増えています。眼に関する基本的なこと、おろそかになっていませんか？
そこで多根記念眼科病院の眼科医・井上智之さんと薬局長・鈴木由紀子さんに眼に関すること・お薬のことをお聞きしました。

眼の病気で多いのは…。

私どもの病院に来られる患者さんで多い眼の病気はというと、まずは「白内障」です。加齢に伴って水晶体が濁ってくる、ぼやけたり、まぶしくなったり、カチカチになるので焦点が合わなくなる病気です。続いて「網膜剥離」。読んで字のごとく、網膜が剥がれてしまう病気です。そして「緑内障」。眼圧が高くなって、神経の方やられ、視野が狭くなつて

くる病気です。最近増えてきているのは「加齢黄斑変性」。これは目の中の黄斑という場所の、下の層が痛んできたりすると、動脈硬化みたいに血管が悪くなつてきて、新しい血管が腫れてくるというもので、これは食の欧米化が原因のひとつになります。眼の病気に關しては予兆があつたなら、必ず早めに眼科へ受診するべきです。

目薬について気をつけたいこと。

病院で処方しているのは、合剤と呼ぶ、一成分一剤入っている点眼液が2種類が多いですが、市販薬はいろんな成分が入っており、ある程度の期間、保存ができる防腐剤も入っているもので、病院で処方しているものとは別物として考えてください。

保存方法として、基本、常温で。高温多湿の状態は菌が増えるので避けたほうがいいですね。よく、ポケットの中に入れたままにしてる人がいますが、良くないです。カバンの中に入れておくのが一番です。

目薬は1滴でもいいです。2滴3滴さしてもこぼれますし、たくさん



コンタクトレンズについて

基本的に、適正に使っていると非常に便利で病的なこともし起こりにくいレベルまでできているコンタクトレンズ。ハード、ソフトともに様々な方のニーズに応え、対応性ができているくらい進化しています。それだけに取り扱いを誤ると、眼合併症を引きやすい。

例えばドライアイ、上皮障害と言われる角膜の病気に。空中から角膜に酸素を通すのですが、それが落ちると合併症が起こる角膜浮腫。

さらに連続装用、夜間装用や品質の悪いカラーコンタクトなどを装用していると角膜感染症を引き起こしたりします。特に安価なカラーコンタクトは酸素を通さない素材だったり、色素が染み出したりして非常に危険ですので、安易に購入しないようにして欲しいです。

コンタクトケースは、消毒

液など購入時に付いてきたりしますが定期交換が基本なので、もったいないし、まだ使えたとそれまで使用していたケースに思いがちですが、細菌の宝庫でもあるので、処分したほうがいいです。使用中のものも、洗って、きちんと乾かすことを心がけましょう。



定期検査が大事。

不調がある時は早めに眼科に行けば大抵早く治ります。目薬、コンタクトレンズの消毒液など市販薬には必ず開封日を書いておくようにし、期限内に使い切る、使い切れなかった場合はきちんと処分するようにしましょう。そして眼を休ませることが大切です。それらを守り、眼と仲良く過ごしましょう。



使うからと言っても効用は変わらないですから。あと、まつげなどにも触れないように距離を保って点眼してください。そして開封日を書いておくことをオススメします。